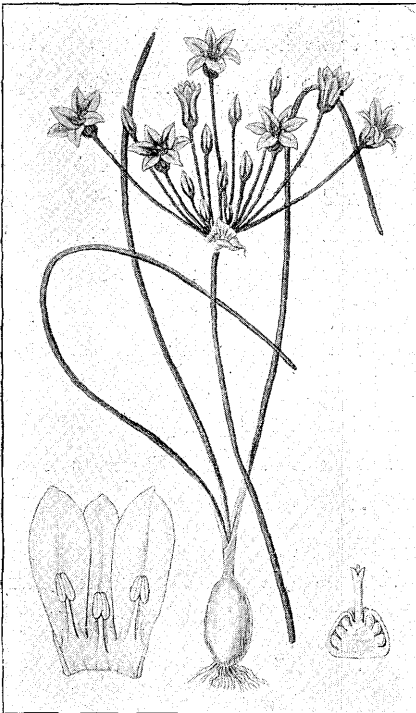


雜 錄 Miscellaneous

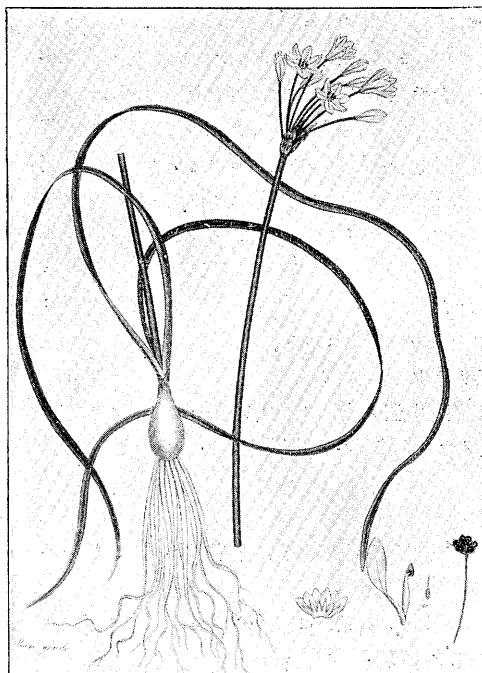
○はなびにらノ所屬ニ就イテ

滿蒙ヤ支那ニハなびにらト呼バレテ居ル小花梗ノ非常ニ長イヤまらつきやうノ様ナ植物ガアル。花軸ノ先ニ十數個ノ花ガ長イ放射狀ニ出タ小花梗ノ先ニ咲イテ居ルノハ恰度花火ガバツト開イタ様デアルカラハなびにらト呼バレル様ニナツタノデアル。今ハ東京デモ滿洲ノ珍花トシテ栽培シテ居ル人モ多イガ此植物ノ學名ヲ通例 *Nothoscordum neriniflorum* ノトスコルドム ネリニフローラム BENTHAM & HOOKER ト謂フ。此學名ハ 1844 年ノ十月ニ HERBERT 氏ガ支那ノ舟山列島産ノはなびにらヲ英國ニ移シ植エラレテ居タノヲ取調ベテ之ヲ百合科ノ新屬ト認メ *Caloscordum* ナル新屬ヲ建テ、Botanical Register 第 30 卷ノ卷尾ニアル Miscellaneous Matter of the Botanical Register 第 66-67 頁ニ記述シタ時ニ附ケタ學名 *Caloscordum neriniflorum* (第 1 圖參照) ヲ KUNTH 氏ガ Enumeratio Plantarum 第 IV 卷 457 頁



第 1 圖 はなびにら *Caloscordum neriniflorum* Botanical Register, new series X, Pl. 5 ヲ寫ス (4/9 = 縮寫)

第 2 圖 *Hesperoscordum lacteum* (ヘスベロスコルドム ラクテウム) Botanical Register, new series VI, Pl. 1639 ヲ寫ス (4/9 = 縮寫)



第3圖 *Nothoscordum striatum* (ノトスコルドム ストリアーツム
Botanists Repository II, Pl. 107 = *Allium gracile* トシ
テ出デ居ルモノヲ寫ス (2/5 弱ニ縮寫ス)



第4圖 *Triteleia laxa* (トリテレーア ラクサ)
Botanical Register, new series VIII, Pl. 1085 ヲ
寫ス (4/9 = 縮寫)

(1843) = 出版シテアル *Nothoscordum* 屬ト同一屬ダト見做シテ BENTHAM, HOOKER 兩氏
ガ其著 Genera Plantarum 第 III 卷第 2 部 802 頁 (1883 年版) = *Nothoscordum*
neriniflorum ナル新組ミ合セヲ作ツテ發表シタノヲ其後ノ學者ガ皆踏襲シタノデア
ル。抑
モ *Nothoscordum* 屬ノ type species ハ始メテ西印度ノ Barbados 島ダ探集シテ 歐洲ニ
移植シタモノニ (本種ハ加奈陀以南「メキシコ」迄モアリ) JACQUIN 氏ガ *Allium striatum*
ト命名シテ氏ノ著書 Icones Plantarum Rariorum 第 II 卷 366 圖版ニ圖解シタモノデア
ル此ハ十八世ノ末葉 (1786 年頃) デアル。其圖ハ又 ANDREWS 氏ノ Botanists Repository
第 II 卷 107 圖 (1800 年 9 月版)、(第 3 圖參照)、REDOUTÉ 氏ノ Liliacées 第 I 卷
50 圖 (1802 年版)、SIMS 氏ノ Botanical Magazine 第 XXV 卷 1035 圖 (1807 年 7
月版) 等ニモ出テ居ル。此ニ類似ノ植物ハ其後モ十數種南米カラ記載サレテ居ルガ皆白花
又ハ黄花ヲ開キ雄蕊ハ 6 個アツテ 6 個ノ花被ノ基カラ出テ花絲ハ幅廣ク其基ガ互ニ相癒合
シテ單體雄蕊トナツテ居リ柱頭ハ 1 個デ頭狀又ハ點狀ヲナシテ居ルモノデア
ル。

元來西印度墨士哥以南、南米ノ植物帶ノ形成ハ東亞ノ植物帶ノ形成トハ植物帶ノ地理學
的發達ノ上カラモ全然獨立ノモノデアツテ全世界共通ノ植物デナイ限り斯クモ離レテ兩植

物帶=共通ノ顯花植物ノ屬ガアルト云フ事其自體ガ疑念ヲ人ニ起サセル事柄デアル、而シテ *Nothoscordum* 屬=編入サレタ植物デ東亞ニアルモノハはなびにらダケデアアル上= HERBERT 氏ハチャント *Caloscordum* ナル屬ヲ建テテ置イタノデアアルカラ *Caloscordum* ナル屬ノ特徴ヲ HERBERT 氏ノ記事ニ據ツテ讀ンデ見ルト「花被ハ基部デ互ニ相癒合シテ合萼トナツテ居リ、之レガ小花瓣ト關節シテ居ル、雄蕊ハ花被ノ央以下ニツキ狭ク決シテ幅廣クナイシ、柱頭ハ3個デアアル」ノデアアル、此中花被ガ小花瓣ト關節スルト云フ條項丈ケヲ除ケバ HERBERT 氏ノ記事ハ極メテ正確デアツテナハびにらニ相違ナイノデアアルシ其後3年即チ1847年= J. LINDLEY 氏ハ同ジ Botanical Register XXXIII 卷第5圖= ^{リンドレー}圖解シテ居ルノモ矢張はなびにらニ相違ナイノデアアル其故ニモウ一度判リ易クスル爲メ *Nothoscordum* ト *Caloscordum* トノ特徴ヲ比較シテ列記スルト、

Nothoscordum (加奈陀以南、南米智利ニ互リテ10餘種アリ)。

花被ハ白色ヌハ黄色稀ニ汚紅色、雄蕊ハ6個、6個ノ花被ノ基ヨリ各一本宛出ヅレドモ幅廣キ花絲ハ基ニテ相癒合シテ單體雄蕊ヲナス。柱頭ハ1個點狀又ハ頭狀、花柱ハ果實成熟時ニモ直立ス。

Caloscordum (支那、滿洲ニ1種アリ)。

花被ハ鮮紅色、雄蕊ハ6個、6個ノ花被ノ央以下ニ附着シ離生、花絲ハ狭シ、柱頭ハ3個、花柱ハ花後洞ミテ曲ル。

トナル、其故植物帶發生ノ上カラ即チ植物地理學上カラ見テモ特徴ノ上カラ見テモ兩屬ニ區別シタ方が正當ダト思フ、從ツテはなびにらノ學名ハ次ノ様ニナル。

はなびにら

Caloscordum neriniflorum HERBERT in Bot. Regist. XXX, Misc. p. 67 (1844).
(異名) *Caloscordum nerinefolium* LINDLEY in Bot. Reist. XXXIII (new ser. X) t. 5 (1847).

Caloscordum nerineflorum HERBERT apud LINDLEY, l.c. in textu.

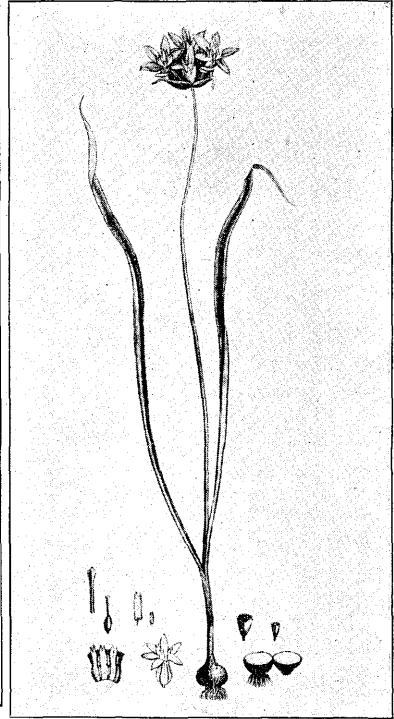
Nothoscordum neriniflorum BENTHAM & HOOKER, Gen. Pl. III pt. 2, p. 802 (1883).

^{カロスコルドム}
Caloscordum 屬ノ記相文ノ下= WILLIAM HERBERT 氏大憤慨ノ卷ガアル、HERBERT 氏ハ當時ノ石蒜科植物ノ權威者デアツテ1778年= Manchester = 生レ1847年= London デ長逝シテ居ルカラ此屬ヲ發表シタ時ハ66歳デ最モ圓熟シタ智識ヲ持ツテ居タ頃デアアル。此記事ハ當時ノ單子葉植物ヲ纏メタ ^{クンツ} KUNTH 氏ニ對スル不滿ノホドバシリデアツテ之ヲ公表スルト現在我邦デモ耳ノ痛イ人が大分アル様デアアル。私ハ現時ノ植物研究者中ニ研究者トシテノ德義心ノナイモノガ往々アル事ヲ痛憤シテ居ル一人デアアルカラ若ク且ツ將來アル植物研究者ニハ此記事ハ好箇ノ參考資料ト思フ、從テ本誌ノ雜錄欄ニハ應ハシイモノト思フカラ譯出シテ見ヤウ。『前記ノ記相文ト共ニ「クンツ教授」ノ目錄中 ^{アスフォデルス} *Asphodelus* 族ノ章ニ言及スル必要ガアルト思フ、自著「石蒜科植物」ノ序論第11頁並ニ目次= ^{ネギ} *Allium* 屬中葱 ^{シウドスコルドム} 臭ナキ部類= *Pseudoscordum* ナル名ヲ與ヘテ置イタガ之ヲ「クンツ教授」ハ理由モナク

^{ノトスコルドム}
Nothoscordum ナル名ニ變更シテねぎ屬カラ區別スルヲヨシト云フテ居ル、之ハ許スベカラザルコトデアアル、然シ事實此種ノ植物全部並ニ ^{ヘスベロスコルドム}*Hesperoscordum* 屬植物(せつかねぎト他ノ數種ヨリハ判然區別シ難イ)ハ寧ロねぎ屬ノ一節ト考フベキデアアラウ、讀者ガ「クンツ教授」ノ26行ニ互ル *Nothoscordum* 屬ノ記相文ヲ讀ム時ニ此記相文ニ依テ *Nothoscordum* 屬ハ判然トねぎ屬カラ區別サレ切ツタモノト思フダラウガ實ハ何ノ點ニ於テモ直ニねぎ屬カラ區別スル様ナ事ハ記シテナイノミナラズねぎ臭ノナイト云フ重要ナ事實サヘ落シテアル、而シテねぎ屬ト對照セシメズシテ反テ ^{リンドレー}LINDLEY 博士ノ *Hesperoscordum* 屬ト比較對照セシメテ居ルノミナラズ此處デモ理由ナク *Hesperoscordum* ヲ ^{ヘスベロスコルドム}*Hesperoscordium* ニ改名シテ居ル、「クンツ教授」ノ書ハ斯ノ如キ無分別ナル計畫ニテ組成サレ屬ノ特徴ノ記事ノ如キハ研究者ヲ助クル代リニ混亂セシムル様ナモノデアアルカラ此處デ一般公衆ノ爲ニ彼氏ノ著書全部ニ對シ抗辯スル必要アリト認メル、若シ斯ノ如キ書ノ編輯者又ハ配列者ニ其著書ヲ有用ニシヤウトカ又ハ合理的ニシヤウトスル親切氣ガアルナラバ、植物ガ相互ニ關聯シテ居ル重要ナ點ヲ簡單ニ表現シ、細カイ區別點ハ其下ニ記サナケレバナラヌノデアアル、然ルニ「クンツ教授」ハ之レト全く正反對ニ、最モ相關聯シテ居ル特徴ニ言及セズシテ、些細デアアラウト重要デアアラウト御構ヒナシニ、凡テノ特徴ヲ唯積ミ重ネテ書キ記シ、唯例外トシテ偶ニ附記中ニ重點ヲ記シテ居ル丈ケデアアル、斯シテ彼氏ハ讀者ヲ惑亂セシメ、讀者ハ彼氏ノ記シタ長キ記相文ヲ一語一語讀ンデ、何處ニ區別點ガアルノカラ確メナケレバナラズ、又讀ンダ後ニハ、不幸ニモ、異種ヲ對比スベキコトハ何モ書イテナイコトガ判ルシ、又假令其記事ガ實際デアアツテモ、同一性質ガ別ノ語デ表ハシテアツタリ、又同一屬中デモ異ツタ特徴ガ同一語デ表ハシテアツタリシテ、御互ノ植物ガ一體ドウ互ニ近似シテ居ルノカ判ラヌ様ニシテアル、モット惡イノハ、教授自身ガ各屬ノ斯モ多イ種類ノ性質ヲ檢シテ居ラヌ爲メニ、屬全體ニ關シテ定メラレタ事實ハ、多クノ點ニ於テ誤ツテ居ルコトデアアル、又ヨシ正シイ場合デモ、讀者ハ何レガ實際ノ點カラ判斷スベキ方法ガツカヌシ、此點デ此植物ガ此屬カラ除外サレネバナラヌト云フ様ナコトヲ判斷スベキモノガ何ニモナイノデアアル、故ニ此種ノ著書ハ公衆ノ妨害物デアアル、此次ニ出版サルベキ書デハ屬ノ特徴ヲ簡明ニシ、重要デナイ事柄ハ決シテ挿入セズ、屬ノ區別ニ缺グベカラザル特徴ノミヲ採リ、凡テノ細カイ特徴ハ一括シテ附記中ニ加ヘ、假令其中ニハ不正確ノ事柄ガアツテモ、其レニ依ツテ、分類ノ根本義ニ禍ヲ及ボサナイ様ニセンコトヲ、衷心カラ「クンツ教授」ニ望ム。「クンツ教授」ハ「リンドレー博士」ノ *Hesperoscordum* カラ *Nothoscordum* ヲ區別セントテ (1) 苞ハ2枚ヨリ成ル(「リンドレー博士」ハ *Hesperoscordum* ノ特徴トシテ第2次ノ苞ノナイコトヲ記セズ)。(2) 花柱ハ永存シ關節ナシ(此ハ誤レル事實デアツテ私ハ *Hesperoscordum lacteum* (第2圖參照)ノ果實中ノ種子ガ完成シテモ花柱ハ確リト附イテ居ルヲ見タ)。(3) 子房ノ頂ニ3個ノ腺ナキコトノ3點ヲ擧ゲテ居ルケレドモ、主要ナル特徴即チ花絲ガ膜狀ニ擴ガリ互ニ相癒合スルコト、花被ガ小花梗ト關節スルコトヲ落シテ居ル。氏ハ(?)ヲ附シテ、柱頭ガ分歧セヌ事ヲ特徴中ニ加ヘテ居ルケレドモ、*Hesperoscordum* 屬ノ柱頭ハ廓大圖デモ唯3角形ヲナシテ居ル位故、3裂スルト云フ事實ハナイノデアアル、*Pseudoscordum* ガーツノ屬デア



第5圖 *Brodiaea grandiflora* (プロヂェア グランヂフローラ) 第6圖 *Brodiaea congesta* (プロヂェア コンゲスタ)
 PAXTON, Magazine of Botany XX, Pl. 221 フ寫ス J. E. SMITH 氏ガ Transaction of the Linnaean
 Society X, Tab. 1 = 圖示セルヲ寫ス. (約 1/3 = 縮寫)



ルヨリモねぎ屬ノ一節デアアルコトガ、事實デアアルコトハ次ノ通りデアアル。

「葉ハ線狀、花筒ハ倒圓錐形ニシテ子房ヨリモ短ク、小花梗ト續キ(關節セヌコト)、花被
 ノ裂片ハホボ同長ニシテ花筒ヨリモ遙ニ長ク、花絲ハ扁平ニシテ先端ハ絲狀、外花被ハ花筒
 ノ口ノ所ニ雄蕊ガツキ、内花被デハ其ヨリモ上ニツク、藥ハ小、柱頭ハ三角形、花柱ハ永
 存ス、子房ハ丸ク淺キ3溝アリ、ねぎ臭ナシ、余ガ見タルモノニテハ内花被ハ外花被ヨリ
 モ少シ狭シ」。

Caloscordum ハ故ニ *Pseudoscordum* ヨリハ次ノ様ニ區別サレル。

「花筒ハ子房ヲ包ミ關節ス、花絲ハ短ク決シテ膜狀ニ擴ラズ、花柱ハ調ミテ曲ル」。

此件ハ次ノ屬ナル ^{トリテレイア} *Triteleia* ト ^{プロヂェア} *Brodiaea* トニ言及セズニハ過セナイモノデ、「クンツ教
 授」ハ ^{トリテレイア} *Triteleia* (第4圖参照) ニツイテハ *Pseudoscordum* カラハ、3又セル柱頭ト、
 凹頭ノ藥ヲ除ケバ、區別ハナク、寧ロ同屬ノ一節デアルト云ヒ、*Brodiaea* 屬トねぎ屬トノ
 關係ヲ除外シテ居ルガ、斯様ナ小サイ區別デハ節スラ立テルコトハ出來ナイ。

「子房ハ僅ニ突出シ基脚ニ長柄アリ、花筒ハ長漏斗狀ニシテ長サハ裂片ヨリモ長シ」此特

徴ガ *Triteleia* 屬ヲ *Allium* 屬並ニ其近縁ノ屬カラ區別スベキモノデアル。「クンツ教授」ハ *Brodiaea* 屬ハ唯一種 *B. grandiflora* (第5圖參照) ダケニ限り、*B. congesta* (第6圖參照) ハ別屬ニシテ *Dichelostemma* ^{デケロステムマ} ト命ジテ居ルガ、兩種共ニ *SALISBURY* 氏ガ其著 *Paradisus Londinensis* ニ、其書中ノ圖ヲ畫イタ畫家ノ名ヲ採ツテ、*Hookera* ^{フツケラ} ノ名デ圖シ且ツ記載シタモノデアル、而シテ *SALISBURY* 氏ハ同書中ニ *J. E. SMITH* 卿ガ、*SALISBURY* 氏ガ附ケタ *Hookera* ナル名ト其記事トガ出版サレタ後、其ニ構ハズニ又別ニ *Brodiaea* ナル名ヲ同植物ニ與ヘテ、論文ヲ讀ンダ(學會デ) コトヲ攻撃シテ居ル。私ハ *Brodiaea* ナル名ガ *Hookera* ナル名ヨリモ先ニ出タカドウカ、其真相ヲ知ラヌカラ、何トモ決定ハシ兼ネルガ *B. congesta* ^{コンゲスタ} ガ「クンツ教授」ノ言フ如ク同屬植物デナイナラバ *B. grandiflora* ^{グランディフローラ} ノ方ニ *Hookera* ノ名ヲ止メ「スミス氏」ノ *Brodiaea* ヲ *B. congesta* ノ方ニ殘サネバナラヌ、「クンツ教授」ガ *congesta* ニ用キタ新ナル特徴ハ21行ニ互リ、「*Brodiaea* カラハ無性ノ雄蕊ノ性質ト形トゾ區別サル」ナル語ニ終ツテ居ル、彼氏ノ記ス區別點ハ何か、吟味シテ見ル必要ガアル!! 兩種ノ記載ヲ比較スルト、不明瞭ナガラ *grandiflora* ハ「雄蕊ガ花瓣様デ著シク長ク披針狀莖形」ナル語デ表現シテアリ、*congesta* デハ同ジク花瓣様トハ記シテアルガ、其長サモ形モ記サズ、唯「2又シ小刀狀ノ形トナル裂片ヲナシ恰モ3重ノ花被アル如キ觀ヲ呈ス」ト記シテ居ル、ツマリー一方デハ無性雄蕊ガ全縁デアリ、他方デハ2ツノ裂片ニ割レ往々不規則ノ側片ヲ有スルカラヨイ種ノ區別點ガアルト云フコトニナル、誰デモ花被上ノ雞冠ノ縁ニ切レ込ガアルカラトテ *Iris* 屬中ノ種ヲ獨立ノ屬ニスル者ガアラウカ、斯ノ事ヲ記スト讀者ヲ驚カスデアラウガ、私ノ知ル限りデハ *Brodiaea* 屬ノ子房ノ下ニ鱗片アリト云ヒ切ツテアルノハ虚偽デアル、而シテ私ガ吟味シタ兩種ノ花デハ、其様ナモノハ一モ無カツタノデアル、花被ハ厚イカラ、*SALISBURY* 氏ガ花被ヲ取り去ツタ時ニ殘ツタモノヲ、鱗片ト見誤ツタノデ、序ニ他ノ種ニモ鱗片ガアルトシテシマツタノデアル、故ニ「クンツ氏」ガ *Dichelostemma* 屬ニ「子房ノ下ニ鱗片ナシ」ト記シタノハ不要ノ文句デアル。RUIZ 氏モ嘗テ互生スル花絲ノ關節スル下ノ部分ガ殘ツタノヲ見誤ツテ、*Pyrolirion* ^{ピロリオン} 屬ノ花ニ鱗片アリト想定シタコトガアル。「クンツ氏」ノ *B. congesta* デハ萼片ガ最モ幅廣ク、*B. grandiflora* デハ花瓣ガ最モ幅廣シト云ツタノモ誤デアツテ、兩者共花瓣(内花被)ガ最廣デアル、「エンドリッヘル教授」ハ *Triteleia* 屬ト *Hesperocordum* 屬ト其間ニ入ルベキ他ノ屬トヲ共ニ *Agapanthus* ^{アガパンthus} 族ニ入レ、ねぎ屬ヲ *Asphodelus* ^{アスオデルス} 族ニ入レ、以前ノ *Asphodelus* 族ヲ亞科ニ上シテ居ルガ、「クンツ教授」ハ此ガ誤デアル爲メカ此點ヲ默殺シテ居ルノハ賢シイヤリ方デアル。此等新設ノ亞科並ニ其間ニ介在スル「アローエ」亞科ノ特徴ヲ檢スルニ、其處ニ何等實際上ニ區別ハナク、雙方ニアル特徴中ノ一ヲ一方デハ強調シ、一方デハ限定シテ居ルダケデアル、唯種子ノ區別丈ケハ確定サレテアルガ、其レモ或點ハ不正確デアリ、或點ハ不判然ト記シテアル、彼氏ノ *Agapanthus* 族ハ黑色又ハ淡黑色膜質ノ種デアリ、或點ハ不判然ト記シテアル、彼氏ノ *Asphodelus* 族ハ黑色又ハ淡黑色膜質ノ種皮ヲ有シ、*Asphodelus* 族デハ黑色殼狀ノ種皮ヲ有スト記シテアルガ、是モ亦誤デアリ、此區別ハ屬ノ區別ニモ用キラヌ位ノモノデアル、喜望峯産ノ *Ornithogalum* ^{オニトガールム} 屬植物ノ數種

ハ他ノ種並ニ *Triteleia* 屬 *Brodiaea* 屬ノ種子ヨリモ薄イ殻狀ノ種皮ト扁壓サレテ丸クナイ種子ト有スル、其上ニ「クソツ氏」ノ *Agapanthus* 族中ノ *Calliprora* 屬ト彼氏ノ *Asphodelus* 族中ノ *Scilla* ^{スキラ} ^{アメーラ} *amæna* トハ他ノ種ガ皆黒色ノ種子ヲ有スル間ニアツテ銹褐色ノ種子ヲ有シテ居ル』。

以上ヲ通覽シテ得ル所ハ (1) 他ノ學者ノ命名シタモノヲ私シテハナラヌコト。(2) 他ノ學者ガ研究シタコトヲ知ツテ恰モ自ラガナシタカノ様ニシテ發表スル如キハ許スベカラザル不徳ナルコト。(3) 譯モ判ラズニ學者ノ眞似ヲセヌコト。(4) 植物ヲ取扱フ時ハ其特征中最モ大切ナルモノヲ早ク見極ムベキコト。(5) 多數ノ植物ヲ列記スル際ハ其區別點ヲ明確ニスベク唯ダラダラト順序ナク記載セヌコト。(6) 用語ヲ一定スルコト等デアル。我邦ニハ近時ニ至ルモ尙ホ不幸ニシテ (1) (2) (3) (5) ニ該當スルモノアルヲ慨シ敢テ斯ルコトヲ譯出シタノデアル。(中井猛之進)